

廃棄物の野外焼却（野焼き）は 禁止されています

生活環境課 ☎22-1314

廃棄物の野外焼却は、煙や悪臭による近所迷惑、ダイオキシン類や有害物質の発生による健康被害、火災発生の原因となるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で禁止されています。ドラム缶やブロック囲いでの野外焼却であっても禁止です。

野外焼却は、法律第25条の罰則に該当し、5年以下の懲役、1,000万円以下の罰金のいずれか、または両方が科せられます。家庭から出たごみや庭木、枯れ草などは野外焼却せず、指定されたルールで処理してください。

野外焼却が禁止されているもの

- 家庭から出たごみ（生ごみ、紙くずなど）
- 落ち葉、枯れ草、剪定枝（農林業を営むためにやむを得ないものは除く）
- プラスチック類、ゴム類、皮革類（例外はありません）



野外焼却禁止の一部例外について

野外焼却は禁止ですが、やむを得ず行う野外焼却について、法律で一部例外として認められているものがあります。例外として認められている野外焼却であっても、周辺の迷惑になるような場合や火災危険が伴う場合は、警察・消防や市役所による指導などの対象となります。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2第3号（焼却禁止の例外となる廃棄物の焼却）	
1 国又は地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却	河川敷の草焼き（河川管理者） 道路沿いの草焼き（道路管理者） など
2 震災、風水害、火災、凍霜害その他の災害の予防、応急対策又は復旧のために必要な廃棄物の焼却	災害等の応急対策、火災予防訓練 凍霜防止のための稲わら焼却 など
3 風俗慣習上又は宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却	どんと焼き、塔婆の供養焼却 など
4 農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却	農業者が行う稲わらの焼却、林業者が行う伐採した枝葉などの焼却 など
5 たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの	たき火、キャンプファイヤー など ※廃棄物の処理を目的としたたき火は認められません。

※例外として認められている野外焼却であっても、決して推奨されているわけではありません。次の点に留意して行うように努めてください。

- ①近所の方の理解を得たうえで行ってください。
- ②焼却物は、よく乾かし、天候・風向き・時間帯などを考慮し、少しずつ燃やすなど近隣の生活環境に配慮してください。
- ③一部例外となる野外焼却を行う場合は、事前に生活環境課までご相談のうえ、消防署へ届け出を行ってください。

「白石産ササニシキ」を使った オリジナル日本酒を造ります！

おもしろい市場では、白石産ササニシキを原料にした新しい日本酒造りを企画しました。醸造は、白石が誇る蔵元「蔵王酒造株式会社」が担います。お客さまの声やアンケートを参考に、「ササニシキ」のように軽快ですっきりとした味わいで、和食と一緒に飲みたくなる日本酒を目指します。

おもしろい市場 ☎26-9778 ☎26-9779

白石のササニシキを使い
白石の酒蔵が造り
白石の直売所で売り出す
「オール白石産プライベートブランド」

新しい日本酒の商品名を募集します！

白石全体を巻き込んだおもしろい商品になるよう、この新しい日本酒の商品名を募集します。ラベルのイメージ案や味の方向性などから、「これはおもしろいぞ！」と感じたアイデアがありましたら、ぜひご応募ください！

採用された方には、白石産ササニシキ精米10kg（新米）をプレゼントします！

- 応募期間 10月1日(木)～30日(木)
- 応募方法 商品名を紙に書き、おもしろい市場にお持ちいただくか、FAXでお送りください。
※採用された商品名の各種権利は、おもしろい市場に帰属します。

●ラベルイメージ案



※変更になる場合があります

- 原料 ササニシキ、米麴
- 精米歩合 65%
- 特定名称 純米酒



おもしろい市場
総務部主任
おおつき いくみ
大槻 育実 さん

おもしろい市場では、市内・県内の商品を数多く取り扱っています。そこで、ここでしか買えない付加価値のある商品を用意したいと考え、原材料から加工までを白石で手掛けた、「オール白石」のオリジナル商品を作ろうと、今回の企画を提案しました。

多くの方から、「楽しみにしてます」とのお声をいただいています。製造本数は限定になると思いますが、白石の良さを感じられる、白石を広くPRできる商品になってほしいです。

蔵王酒造株式会社
常務取締役
わたなべ きいちろう
渡邊 毅一郎 さん



ササニシキは食用米ですが、他の酒造で原料に使われた実績もあり、食事にも合うさっぱりとした味わいになると思います。弊社で手掛けている日本酒と造りの方向性が合っているので、質のいいものができると思いますし、どんな日本酒に仕上がるか私も楽しみです。地元のお米を使ったお酒が、地元の皆さんに愛されるものになるとうれいそうですね。今後も機会があれば、地元のために協力していきたいと考えています。